

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～  
(Ref No : 19-018)

1 オーストラリアによるサモアへの監視船 (Guardian-class patrol boat) 供与式典が開催 (サモアへの供与は、パプアニューギニア、ツバル、トンガに続いて4番目。総額13億5,000万ドルで監視船の代替を行うプログラムの一部。2023年末までに全部で19の監視船を12の太平洋島嶼国に供与)

[原文](#)

(16 August 2019, Naval Technology.com)

2 日本青年会議所のメンバーが、野球用具を小学校に寄付するとともに、日本とパラオの外交、歴史を学ぶために、パラオを訪問 (ペリリュー州訪問のほか、教育相を表敬)

[原文](#)

(20 August 2019, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によってアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

3 アメリカ国務省は、インド太平洋戦略に基づき、太平洋島嶼国との関係強化のための新たな支援として 3,650 万 US ドルを確保するとともに、同国国際開発局 (USAID) がパラオのほか、パプアニューギニア、フィジー、ミクロネシア、マーシャル諸島への職員を増強させることを発表

[原文](#)

(20 August 2019, Island Times)

4 前首相及び現閣僚を含む 16 名のソロモン国会議員 (注: 議会は 50 名の議員で構成) が、36 年にもわたる長期間同国に支援を続けてきた台湾との関係を支持することを表明

[原文](#)

(21 August 2019, Solomon Times)

5 【バヌアツ外務相による投稿】バヌアツは、2020 年の PIF (太平洋諸島フォーラム) 主催にあたり、オーストラリアに具体的な気候変動対策を取るよう要請 (バヌアツは、気候変動による緊急事態の一つとして、2015 年のサイクロンにより GDP の 64% に及ぶ被害を受けたように、サイクロンの強度と頻度が増すことを危惧)

[原文](#)

(20 August 2019, The Guardian.com)

6 太平洋島嶼国首脳は、「新植民地主義的」態度で気候変動に対する緊急行動を拒否したとしてオーストラリアを批判し、PIF（太平洋諸島フォーラム）への参加を疑問視（オーストラリア副首相が PIF 終了後に行った太平洋島嶼国の懸念を拒否する発言に対して、ツバル首相は虐待的、攻撃的であると反論）

[原文](#)

(20 August 2019, The Straits Times)

7 気候変動、海洋汚染、海洋生物の乱獲の脅威をくい止めるため、「国際的な法的拘束力のある合意文書に関する政府間会議」は、UNCLOS に基づく海洋に関するグローバルな条約作成に向けた国連会議第 3 回（全 4 回）を開催

[原文](#)

(20 August 2019, UN News)

8 【論説】中国は、アメリカとの太平洋での海洋覇権争いの中で、台湾と国交を結ぶ太平洋島嶼国 6 か国を、中国との国交樹立に向けて、ひっくり返すことを追求（台湾との国交及びその地政学的位置によって、太平洋の小さな島嶼国は、その重要性を増している）

[原文](#)

(20 August 2019, Nikkei Asia)

9 シンガポールの消防機関が、化学、生物、放射線対応も可能な最新鋭の消防船を公開（来年からの運航を予定）

[原文](#)

(21 August 2019, The Straits Times)

10 PIF（太平洋諸島フォーラム）は、島嶼国政府職員で構成される選挙監視団を、ナウルに派遣（8月24日に開催されるナウル国会議員選挙のため）

[原文](#)

(22 August 2019, Radio NZ)

11 台湾の外相がパラオを訪問し、同国とパラオ間の直航便を 2020 年から週 5 便にする調整を行っていると言明（同外相は、元パラオ大統領の葬儀に出席）

[原文](#)

(23 August 2019, Island Times)